

研究機関：広島大学

研究課題名	体組成評価による進行肝癌治療の予後解析
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 准教授 相方 浩
研究期間	2018年10月12日 ~ 2023年3月31日
対象者	2009年4月1日から2016年7月31日の間に、広島大学病院消化器・代謝内科でソラフェニブによる肝癌治療を受けられた患者さん。
意義・目的	肝癌におけるソラフェニブ治療において、内臓脂肪と骨格筋の両者について評価した報告はありません。今回、ソラフェニブ治療を行った進行肝癌患者の治療時のCT画像を用いて、体組成評価として筋肉量と内臓脂肪量を測定することでソラフェニブ治療における体組成の重要性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は性別、年齢、 身長、体重、DS、肝疾患の原因、Child-Pugh score、日本肝癌研 究会 の 原 発 性 肝 癌 取 扱 指 針 に 基 づ き 、 腫 瘍 数 、 最 大 腫 瘍 径 、 Microvascular invasion (Vp, Vv)の有無、肝
	准教授 相方 浩

約に基づく進行度(Stage)、腫瘍数、最大腫瘍径、Microvascular invasion (Vp, Vv)の有無、肝